

## 【最優秀賞】

作品名	たまゆら <sup>わん</sup> 湾 (ジャンル：小説)
作者名	江口 <sup>えぐち</sup> ちかる (ペンネーム)
住 所	京都府
職 業	会社員
受賞歴	第14回 岡山県内田百閒文学賞 優秀賞 第40回・42回 岡山県文学選奨小説部門 佳作 第43回 岡山県文学選奨川柳部門 入選



### 最優秀賞作品の概要

シニア向け文学賞にKが応募した小説『たまゆら湾』は、昭和30年代後半の耐火煉瓦工場が建ち並ぶ岡山県備前市三石を舞台に、少年、明が古本屋「たまゆら堂」の店主、美耶子に寄せた恋心が描かれていた。“両側から山にじわじわと締めつけられている町”で、屈折した思いを抱えている明は、美耶子と一緒にいる時間が心のよりどころとなる。だがある日、美耶子は町から姿を消した。小説の中で明は、美耶子と不本意な別れをし、彼女の幸せを願う。そんな中、小説『たまゆら湾』に登場する店主は母がモデルではないかという手紙が届く。

### 審査員講評

小説がもつ虚構性を物語の装置として生かすことによって、文学作品としての試みを成功させている。「K」によって小説中に描かれた少年・明が、そののち老齡の實在の人物として現れる流れも巧みで、作者の力量を感じる。